

## くらしナビ 健康 Health

kenko@mainichi.co.jp

特別養護老人ホームで生活しているMさん(86歳男性)が少し元気がない。夜も眠れないようだ。かわからんみたいでねえ。それ悪いところはないようだ。私は面会簿をチェックしてみる。やはりしばらく家族の面会もあったことも忘れていた。

## 介護の「トバ

—三好春樹

## 無意識

心の奥底に安らぎを

るでしょう

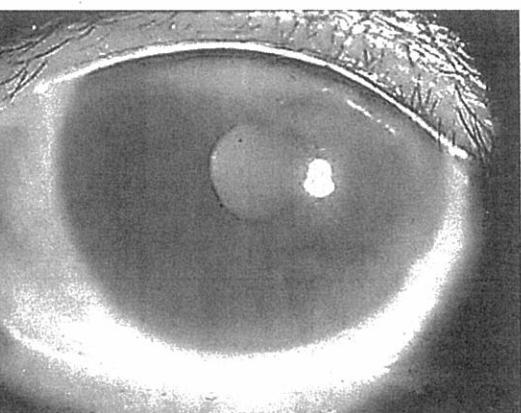
認知症のMさんは家族が来ても誰であるかはわからないらしい。二コニコしてはいるけれど、それに、1時間じゃなくて15分後には、面会そのものを覚えていない。

うか、覚えているかどうかで見ようとする。でも、それは意識の世界での見方である。大切なのは、認知症老人の無意識が落ちているかどうかではないか。

確かに家族が来ても、誰かをコトバで言うことはできないよ。私はMさんに伝える。「お孫さんは孫の小学生を連れ家への面会の効果は他のものには代えられませんから」と私はMさんに伝える。「お孫さんが来たときに元気がないと心配するから、ご飯を食べますね」

が途絶えている。それが原因らしい。さっそく家族に電話で面会のお願いをする。電話に出た長男さんが言う。「せっかく面会に行つても誰に面会が終わって1時間もした

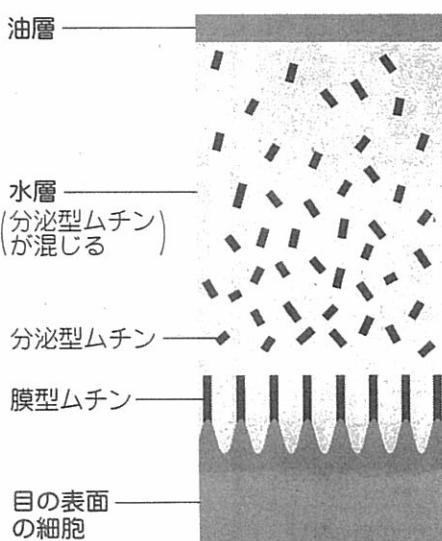
「生活とりハビリ研究所」代表



①正常な目だと涙が目の表面に均一に広がって安定するが、BUT短縮型ドライアイでは目を開けるとすぐに涙の乾いた部分(黒っぽい部分)ができる、むらがある—横井則彦・京都府立医科大学准教授提供



涙の構造



## 実施医療機関12施設を認定

骨髄バンクを運営する骨髄移植推進財団は、非血縁者間の末梢血幹細胞移植を実施する医療機関として、名古屋第一赤十字病院など12施設(10年12月15日現在)を認定した。

同移植は、血液のもとに

る造血幹細胞を健康な人の血液から採取し、白血病などの患者に移植する治療法。これ

まで血縁者間に限定されて

いたが、10年10月に非血縁者間での実施が導入された。骨髓移植に比べてドナーの体の負担が少ないなどの利点があり、ドナー登録や移植件数の

増加が期待されている。

採取や移植の実施施設につ

いては20施設から申請があり、うち12施設の審査や認定が完了した。今後の新規認定施設は財団のホームページで随時公表していく。

残る11の認定施設は次の通り(認定順)。大阪市立大病院、倉敷中央病院、福島県立医大病院、久留米大病院、北海道大病院、九州大病院、安城更生病院、名古屋大病院、富山県立中央病院、慶應大病院、東京都立駒込病院

## ドライアイに新しい型

昨年12月上旬、京都府立医科大学付属病院(京都市)を訪れたエスティシャンの女性は「2、3年前から、まぶしくて目を開けていられないときがある」と、横井則彦准教授(眼科学)に訴えた。

従来のドライアイは、涙の量が少ない「涙液減少型」か、涙の表面の油分が不足して蒸発が早まる「蒸発亢進型」に大別された。だが、この女性

は涙の量にも油分にも問題はなかったが、まばたきをした瞬間から、角膜の表面の涙の層が安定せず、すぐに乾いた部分(ドライスポット)が現れた。横井准教授は「BUT短縮型ドライアイ」と診断した。

「黒目(角膜)の表面の水ぬれが悪く、涙をはじいてしまう。いわば、目の肌荒れのような状態だ」と同准教授は

説明する。涙の量は十分あるため、ドライアイの診断基準にあるように目の表面にあまり傷ができず、ドライアイと診断されないことが多い。

角膜の表面には「膜型ムチン」という分子が突起のよう分布しており、涙の中にも含まれるムチンと協力して、角膜の細胞と水(涙)との相性をよくする働きをしている。

BUT短縮型ドライアイは目の細胞に原因があると考えられるため、涙の異常に起因する従来のドライアイの治療法ではなかなか症状が改善しない。横井准教授は「BUT短縮型ドライアイ」と診断した。

国内のドライアイ人口は800万~2200万人と推定されている。まばたきの回数が減るパソコンでの作業の多い人や、コンタクトレンズ使用者が多い。コンタクトレンズメーカーのボシュロム・ジ

ヤパン(東京都品川区)の調べでは、コンタクトレンズ使用者では半数がドライアイの新規を増やす動きのある新しいタイプの点眼薬を発売した。臨床試験では涙液層の破壊時間が延びることが確認

用者は、秋に相当する気温15度、相対湿度20%での目の乾燥感を持ち始め、冬を想定した境下では乾燥感が増すことが分かった。湿度の低下よりも、風があるときに乾燥感が強まることが明らかになった。

また、特に若い女性は、ア

イメークがドライアイの原因

になることもあるので要注意です。

横井准教授は「約80人の患者を調べたが、はっきりした傾向はなかった。ある日突然発症したケースも多い」と話す。

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □